

令和7年度事業報告

1. 特別養護老人ホームたくま荘屋上防水修繕工事について

老朽化に伴い雨漏りの発生頻度が高まっていた特別養護老人ホームたくま荘旧館の屋上全体において、防水修繕工事を実施しました。

今回の改修工事では、昭和58年に竣工した建物を対象に、ウレタンゴム系塗膜防水工法を用いて防水機能を再生しています。この工事により、これまで懸念されていた梅雨末期や台風時の大雨による雨漏りを防止し、清潔で安心できる環境を整えることができました。

また、利用者様が快適に生活できる環境を維持するだけでなく、防水劣化による建物のさらなる損傷を防ぎ、長期的な維持管理の観点からも建物の安全性を確保することにつながっています。

その結果、利用者様やご家族様にとっても、より満足度の高い施設環境を提供できるようになりました。

総事業費	39,957,500円
内訳 設計費	2,640,000円
工事費	37,317,500円

2. 働きやすい職場づくりについて

たくま荘、おおはま荘に導入したインカムおよび介護記録音声入力システムを職員が使いこなせるようになったことで、就業中の職員同士のコミュニケーションが一段と円滑になりました。特に夜勤帯では互いに状況を共有しながら助け合える体制が整い、働きやすい環境づくりに寄与しています。その結果、協力体制が強化され、生産性の向上につながるとともに、利用者様へ質の高い介護サービスを提供できるようになり、職員同士の信頼関係も一層深まっていると感じています。

また、令和7年度についても、昨年度に引き続き2%のベースアップを実施しました。

さらに、外国人特定技能職員が4名となり、適切な指導のもと、短時間で質の高い業務を遂行できるよう支援してきました。日本人職員と同様に長く働ける職場環境の整備も進んでおり、多様な人材が活躍できる体制が着実に構築されつつあります。

これらの取り組みにより、収益の向上を図りながら、施設の安定した持続可能な経営を目指しているところです。

3. 部署別事業計画および事業目標

特別養護老人ホームたくま荘

年間入所率 95%以上、ショートステイ利用率 80%以上の目標に対し、前年度と比べて年間入居率は 2.03 ポイント改善され 93.76%となりました。ショートステイについても、稼働率は 11.2 ポイント改善され 78.6%となりました。

地域密着型特別養護老人ホームおおはま荘

年間入居率 95%、ショートステイ 75%以上の目標に対し、前年度と比べて、5.39 ポイントの低下となり 84.92%となりましたが、令和 8 年 1 月は 89.77%、2 月は 93.60% 3 月は 96.00%に上昇してきています。ショートステイについては、稼働率が 15.7 ポイント改善され 78.9%になりました。

たくま荘デイサービスセンター

平均利用人数 1 日 25 人を目標としていましたが、前年度と比べて、平均利用人数は 1.8 人増の 24.4 人で、稼働率は 5.9 ポイント上昇し 81.4%となりました。

大浜デイサービスセンター

平均利用人数 1 日 15 人以上を目標としていましたが、前年度比べて、平均利用人数は 1.1 人減の 11.4 人で、稼働率は 6.1 ポイント低下し 63.4%となりました。

ケアハウスたくま

年間の退所者数が 12 名、入居者が 9 名となり、令和 7 年 4 月の月初在籍数が、令和 8 年 3 月には 3 名減となり、入居率が 6 ポイント低下し、86%となっています。退去後の新規入居者の確保のため、他事業所などへ積極的に情報提供を行い入居率の向上に努めます。また、入居された方が長く安心してケアハウスで生活していただけるよう、より良い環境づくりにも引き続き取り組みます。

居宅介護支援事業所たくま荘

毎月の利用者数は月平均 178 件でした。昨年度より 11 件増加しました。1 人当たりの件数は 44.5 人で 2.75 人の増となっています。